

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		鳴門教育大学		設置者名	国立大学法人 鳴門教育大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
学校教育 学部	学校教育教 員養成課程	100人	小一種免	平成12年度	118人	85人	72人
			中一種免(国語)	平成12年度		10人	
			中一種免(社会)	平成12年度		18人	
			中一種免(数学)	平成12年度		11人	
			中一種免(理科)	平成12年度		12人	
			中一種免(音楽)	平成12年度		7人	
			中一種免(美術)	平成12年度		4人	
			中一種免(保健体育)	平成12年度		9人	
			中一種免(技術)	平成12年度		6人	
			中一種免(家庭)	平成12年度		6人	
			中一種免(英語)	平成12年度		12人	
			高一種免(国語)	平成12年度		9人	
			高一種免(地理歴史)	平成12年度		11人	
			高一種免(公民)	平成12年度		12人	
			高一種免(数学)	平成12年度		11人	
			高一種免(理科)	平成12年度		11人	
			高一種免(音楽)	平成12年度		5人	
			高一種免(美術)	平成12年度		4人	
			高一種免(保健体育)	平成12年度		9人	
			高一種免(家庭)	平成12年度		5人	
			高一種免(情報)	平成15年度		7人	
			高一種免(工業)	平成12年度		4人	
			高一種免(英語)	平成12年度		12人	
幼一種免	平成12年度	37人					
養学一種免	平成12年度	13人					
入学定員合計		100人	合計		118人	117人	72人
備考	・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科等の実人数を、右側には学科等内の教員免許課程ごとの人数を記載している。						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度より、実践的指導力を育成するため、教育実践学(教科教育実践、教育実習)を中核とした教員養成コア・カリキュラムを開発し、実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員免許課程が充実しており、積極的な取組を評価する。教員養成のトップモデルとして今後も期待する。</li> <li>今後は、コア・カリキュラムに携わる大学教員の資質の確保や、コア・カリキュラムと教育実習等の実践や大学全体としての到達目標との具体的関連を明確にしつつ、カリキュラムの一層の充実に期待する。</li> </ul>
個別的事項	教員養成に対する理念等 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学は、こどもとのふれあいや教育実践を重視した教育活動に比重を置き、教育課題を解決する能力を伸ばすための教育課程が重要であると認識している。</li> <li>教育課程の編成を工夫し、大学教員の資質を確保するために、全学的組織である「学校教育学部教務委員会」の下に、「学生による授業評価専門部会」、「FD推進事業専門部会」、「実地教育専門部会」を組織している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員養成に対する理念・構想が明確であり、それを具体化するための全学的組織が十分整備されている。特に、「FD推進事業専門部会」の取組みが充実しており、評価する。</li> </ul>
	教育課程 <ul style="list-style-type: none"> <li>教職に関する科目等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業科目「授業研究論」においては、教育職員免許法施行規則に定められている「各科目に含めることが必要な事項」である「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)」の情報機器の活用が含まれていない。</li> <li>授業科目「授業研究論」においては、情報通信技術を活用した教育方法の工夫などを含むようにすること。</li> <li>法令の趣旨により、授業科目「初等国語科教育論」「初等社会科教育論」「算数科教育論」など指導法に関する授業科目は、学習指導要領に掲げる事項に即して、包括的な内容を含んだ科目でなければならない。よって、これらの授業科目では、教科書または参考書として学習指導要領を使用するよう努めること。</li> <li>目次のように羅列するだけでなく、具体的内容や到達目標を明確に記載し、学生にとってわかりやすい丁寧なシラバスへ改善するように検討してほしい。</li> </ul>

	教育実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前指導としてのふれあい実習(1年次 9月)、直前観察実習(3年次 6月)の他、教員インターンシップ(4年次 9月)を実施している。</li> <li>・学外の連携機関として鳴門市教育実習連絡協議会(学外連携)を設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の中に適切に位置付け、実習校や鳴門市教育委員会との連携協力を図るなど、教育実習の円滑な実施に努めているほか、事前及び事後指導についても工夫が見られる。特に、即戦力、実践的指導力の向上を目指したインターンシップ(4年次)の充実ぶりを評価する。</li> </ul>
教職指導、介護等体験等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次におけるオリエンテーション及び合宿研修を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生への履修指導について、1年次のオリエンテーション及び合宿研修を始めとして、きめ細かく丁寧に行われている。</li> <li>・今後は、履修指導体制、指導内容・方法の充実を目指し、学部生・大学院生や現職教員を積極的に活用する等、工夫してほしい。</li> </ul>
免許状取得状況及び教員就職状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特記事項なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援室は、就職情報に関する資料が豊富で、相談スペースが十分に確保されており、充実している。</li> </ul>
施設・設備の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度情報研究教育センター、教員教育国際協力センター、小学校英語教育センター等、各種施設を設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的指導力の向上を図るため、教育関連施設を始めとして、教職に関する科目に係る図書、学術雑誌等の資料、各種教育機器が十分に整備されている。</li> </ul>